

万が一の“地震”対策の準備はできていますか？

先日の大阪北部地震のように、“いつ・どこで”災害が起こるか分かりません。

阪神・淡路大震災も経験している我々にとっては、人間はもちろんのこと多くの動物たちが被災したことは記憶に新しいことと思います。いざという時のために、自分たち家族のためでなく周囲の人たちのことも考えて、動物達の避難準備もしておきましょう。「※避難所では必須条件の品々も含まれます」

～避難時に向けて準備しておくべきもの～

1週間分のフード&水



災害時、被災動物に救援物資が届くのに時間がかかります。長期保存ができるもので、なるべく軽いものが良いでしょう。

排泄物を処理する袋・新聞紙・ティッシュ・ペットシート



避難時であっても排泄物の処理は周りの避難者への最低限のマナーですね。

ケージ・キャリーバッグ



小型犬・ネコ・うさぎ…など、小動物は必需品です。大型犬も用意できる人は用意しましょう。名前・住所も書いておきましょう。

リード・首輪



普段から首輪やリードには身元の確認ができるように迷子札を付けたりしましょう。万が一、離れてしまっても飼い主様のもとに戻ってくる確率が高くなります。

薬(特に持病のある子)



災害時、被災動物に救援物資が届くのに時間がかかります。長期保存ができるもので、なるべく軽いものが良いでしょう。

動物用の靴または靴下



避難時にがれきやガラスで足を負傷してしまった子が多かったようです。

～同行避難のために、やっておくべきこと～

マイクロチップ



災害時に飼主様と離れてしまった場合、マイクロチップを入れておくと、すぐにセンサーで読み取れ飼主様の番号が分かります。(個体判別ができる、環境省おすすめのチップです)

狂犬病予防注射の接種 鑑札・済票



接種を行った際に鑑札が発行されます。首輪などに付けておくと、登録番号で飼主様の名前・住所が分かります。

ノミ・ダニ予防



ノミ・ダニは人にも感染する人獣共通感染症を引き起こします。

混合ワクチンの接種



災害時は、伝染病が流行しやすくなります。毎年のワクチン接種は必須です。

※ スペースの関係で病院に備蓄薬・フードはありません。最終的には、ご自分の責任で用意しておきましょう。

大切な家族だからこそ、準備をきちんとしましょう！！

事前に確認！！緊急連絡先一覧

ご家族の避難所・予定地		マイクロチップ番号	
動物健康保険番号		最寄の保健所	